

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮幹雄	法人・事業所の特徴	あわら市東部（旧金津町）の公園や学校に近い住宅地に立地しており、同敷地内に認知症対応型共同生活介護を併設しています。 利用者一人ひとりの人格を尊重し住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住人との交流や地域活動への参加を図りつつ、県民せいきょうの理念「あなたらしさいつまでも」を応援いたします。金津きらめきでは、通いサービスが中心ですが、訪問を行う事で一人暮らしの方のサポートをし、宿泊を組み入れることで家族の介護負担を軽減できる様に心がけています。地域とのつながりを大切にし、気軽に困りごとを相談しに来て頂けるような事業所を目指します。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 金津きらめきハウス	管理者	竹内明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 本人、家族の思いをミーティングで共有し、行動した後の振り返りを行うことで次につなげていきます。 感染対策を行いながら、地域の活動や会議へ積極的に参加し、地域との繋がりを深めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いをミーティングで共有し行動することはできましたが、振り返りを行うことはできませんでした。 コロナ感染の予防の為、職員が少ない時もあり、思うように行動することができませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回立てた計画等自ら振り返ることは大切な事だと思います。できている点だけでなく、できていない点についてもなぜできなかったかを振り返り次につなげていただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの改善計画を共有し取り組んでいきます。 思いを聞き取る、感じる力をつけ、本人、家族の思いを共有し、必要な時は支援者の協力を依頼し、本人の「～したい」の実現に努めます。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を行い、運営推進委員会で事業所内の見学を実施します。 居心地の良い空間づくりをしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議での事業所内の見学を実施できませんでした。 文化祭を行い、数人の家族方に見に来ていただきました。 居心地の良い空間づくりに努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で厳しい状況とは思いますが、施設内見学等ができるとういです。 	<ul style="list-style-type: none"> 5月以降の運営推進委員会で事業所内の見学を実施します。 地域の方も集える施設になるように、まずは地域の方に訪れて頂ける機会を企画します。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を行いながら、地域の活動や会議へ積極的に参加し、地域との繋がりを深めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染が拡大し、地域の活動への参加は、ほぼできませんでした。 コロナ禍ではありましたが、地域包括の会議に参加することができました。 地域の方からの直接の相談は数件ありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しく民生委員になり、この事業所がどんなところなのかもわかりません。教えてもらえると良いとおもいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員さんに、きらめきを知ってもらえるよう会議に参加し案内をしていきます。 古町地区のサロンに参加し、地域の方へ案内していきます。 5月以降、施設を開放したできるようになってから、地域の方が寄って来られる取り組みを行います。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」を把握し、行きつけのお店がある人には、継続して利用できるように工夫しながら、これまでの暮らしの継続の為に何をすればよいのかを考えた支援に繋がっていきます。 ・地域や社会との繋がりを持ちながら在宅での生活を継続できるよう、社会資源についての学習会を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行きつけのお店がある人には、継続して利用できるようにと努めたが、一度離れてしまったお店へは難しかった。 ・社会資源の学習会はできなかったが、市に申請しデマンドタクシーの停留所をきらめきに作ってもらい、地域に出掛ける仕組みを作った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が、介護が必要となる少し前の暮らしや、どのような方とどんな関係を持ち、何を大切にしてきたのか等、過去からの歩みにより、今本人が地域の中でどのように暮らしていきたいか、あるいは暮らしていけるかのヒントにしていくと良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と地域のつながりがどのようなものだったのか、何を大切にしてきたのかを理解し、小さな事でもいいので地域とつながれる支援を行っています。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で地域の行事や困りごと等について話し合う機会を設け、地域の方が気軽に相談できる場所作りを行っています。 ・会議への参加に管理者だけでなく職員も参加し、施設内だけでなく地域への関心を持てる視野を養っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、書面確認の会も数回ありました。 ・報告が主で困りごとなどを話しあうことはできませんでした。 ・職員の参加ができませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員として今後困りごとがあったら、市役所などに繋ぐようにいわれています。ここへつないでいいですね。 ・コロナ禍ということもあり、地域との関わりについては難しい面もあったと思います。来年度以降、様々な活動が再開していく中で出来ることから再開していけると良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で地域の行事や困りごと等についてお聞きする時間を設定し、話し合う機会を設けます。 ・会議への参加に管理者だけでなく職員も参加し、施設内だけでなく地域への関心を持てる視野を養っていきます。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>日中、夜間を想定した火災だけではない防災訓練を、地域との協力体制も確認しながら実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の訓練にも継続して参加していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中と夜間を想定した火災訓練を実施し、ご近所の方への協力を依頼することができました。 ・地域の防災訓練には参加できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような取り組みがされているのか、運営推進会議の場などで報告していただくと良いのかなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今作成している災害時などのBCP（事業継続計画）等や災害時の準備物品について、運営推進会議等で紹介し、ご意見を頂いていきます。